

「町田市教育プラン２４－２８」の一部修正について

「町田市教育プラン２４－２８」（以下本計画とする）について、一部修正を行いましたので、報告いたします。

１．経過

本計画では、計画の推進手法の一つとして「OODAループ※」を活用し、常に発生する様々な事象や要因に対応し、事業の改善を行うこととしています。

本件は、以下の２つの施策の成果指標及び２つの重点事業について、社会環境の変化等により一部修正の必要が生じたため、町田市教育委員会企画調整会議での承認を得て、修正を行ったものです。

２．修正内容

- (１) 「基本方針Ⅰ_施策１_確かな学力を身に付ける」の成果指標
詳細は２ページのとおり
- (２) 「基本方針Ⅲ_施策２_将来を見据えた多様な学びの環境を整備する」の成果指標
詳細は３ページのとおり
- (３) 重点事業９_「わかる・できる・楽しい」体育事業の実践
修正点：工程表
 - ① 体育実技モデルの派遣
詳細は、４ページのとおり
- (４) 重点事業４２_「学校支援体制の強化」
修正点：活動指標
 - ① 副校長補佐設置校数
詳細は、５ページのとおり

※OODAループ：環境や社会の変化、他自治体との比較等を観察し、仮説を立てるなど状況判断を行い、意思決定ののち実行に移し、ふたたび観察する行為をループして継続する。即効性が高く、期間や時期に関わらず常に変化に対応し、必要に応じて既存事業の改善や新規事業の創出につなげる仕組み。

基本方針 I		施策1 確かな学力を身に付ける					
目指す姿	児童生徒が、自ら進んで目標を設定したり、学習方法を工夫したりしながら学び続けることができる。						
施策の成果指標	指標	現状 2022年度	実績値				目標値
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	自分で計画を立てて学習している児童生徒の割合 (東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査)	小4～6 68.6% 中1～3 64.9%					小4～6 73.0% 中1～3 70.0%
修正理由	東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査項目から上記項目がなくなったため。						
修正の内容	施策の成果指標	現状 2022年度	実績値				目標値
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	自分から進んで計画を立てて学習している児童生徒の割合 (MNE実施状況調査)	小4～6 68.6% 中1～3 64.9% ※参考値 (東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査)	小5・6 77.8% 中1～3 70.1%				小5・6 80% 中1～3 72%

基本方針Ⅲ	施策1 将来を見据えた多様な学びの環境を整備する
-------	--------------------------

目指す姿	社会環境が変化する中でも、その状況に対応し、小・中学校の教育環境が整備されている						
施策の成果指標	指標	現状 2022年度	実績値				目標値
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)読書をする児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小6 75.3% 中3 66.5%					小6 81.4% 中3 71.4%
修正理由	全国学力・学習状況調査の調査項目から上記項目がなくなったため。						
修正の内容	施策の成果指標	現状 2022年度	実績値				目標値
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)読書をする児童生徒の割合 (MNE実施状況調査)	小6 75.3% 中3 66.5%	- (指標なし)				小5・6 81.4% 中1～3 71.4%

基本方針Ⅰ		施策3 生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成する					
重点事業9	「わかる・できる・楽しい」体育授業の実践				所管課		指導課
目的	児童生徒が体を動かすことが「楽しい」、運動の仕方や身に付ける動きが「わかる」、基本的な動きが「できる」など、体育授業を通して運動に親しむ態度を育成します。						
事業概要	●専門家や専門的な知識と技能をもつ人材と直接触れることができる「体育実技モデル派遣」を実施します。						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①体育実技モデルの派遣（小学校） 指標の達成状況▶		大学等との連携・調整 連携・調整	体育実技モデル派遣 全小学校全小学校全小学校全小学校			
社会環境の変化等の背景	●体育の授業の中で、運動の得意な子どもや苦手な子ども等に対してそれぞれ積極的に支援し、個に応じた指導を行う必要があるため。 ●各学校の体育科年間指導計画の実態に合わせて人材を派遣し、事業の効果的な推進を図るため。						
今後の取組の方向性	●2025年度から10校ずつ体育実技モデルを派遣し、2028年度までに全校派遣します。						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①体育実技モデルの派遣（小学校） 指標の達成状況▶		大学等との連携・調整 連携・調整	10校	延べ20校	延べ30校	全小学校

主要な事業計画への影響確認シート(重点事業)

基本方針 IV		施策3 教員の働き方を改善する					
重点事業42	学校支援体制の強化			所管課		教育総務課	
目的	・学校を取り巻く様々な課題に対応できるよう、多様な専門性を有する人材とともにそれぞれの強みを生かせる体制づくりを支援します。						
事業概要	働き方改革に資する取組のうち、主に人的配置及び意識改革に関する以下の内容に取り組みます。 ●主に副校長の業務負担軽減につながる人材の配置を拡充します。(副校長補佐)また、教員の事務的業務の負担軽減につながる人材を継続して配置します。(スクール・サポート・スタッフ)						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①副校長補佐配置校数		副校長補佐の配置				
	指標の達成状況	▶ 25 校	41 校	49 校	57 校	全校実施	全校実施
社会環境の変化等の背景	都の補助金を利用して配置している事業であり、年々厳しくなる町田市の財政状況により、補助金交付要件を満たさない学校への副校長補佐の配置が厳しい状況にあります。(※) また、人材難による人材確保が難しくなる中であっても、引き続き学校教育に理解のある方を採用することで、教員の働き方を改善していく必要があります。 ※補助金交付要件は、「学校規模が一定以上となる学校」「昇任2年目までの副校長が配置されている学校」「その他、特段の事情により本事業の実施が必要不可欠な学校」であり、全校が対象となる想定はありません。						
今後の取組の方向性	補助金の要件を満たす学校には確実に副校長補佐を配置するとともに、都へ全校配置するよう要望を上げていきます。 副校長補佐の業務内容に齟齬が生じないよう、募集段階から丁寧に説明していきます。						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	① 副校長補佐配置校数における副校長の満足度		副校長補佐の配置				
	指標の達成状況	▶ —	—	—	94%	96%	98 %